

きらり

第31回 みんなのコーナー



とくだるな 徳田 瑠菜さん

大隅曾於地区消防組合 曾於消防署 第1小隊 所属

志布志市有明町出身。令和5年4月大隅曾於地区消防組合初の女性消防士として採用。今回は街を守るために尽力されている徳田さんに話を伺ってきました。

消防士になろうと思ったきっかけは

祖父が消防団の分団長を務めた経歴があり、幼いころからその姿に憧れがあり消防士になろうと思った。高校卒業後に大隅曾於地区消防組合に採用され現在2年目です。消防・救助・救急など多数の現場を経験してきました。今年には鹿児島県消防救助技術指導会管内予選（ほくく救出の部）にも出場しました。

仕事で感じたこと

日頃から筋力トレーニングをして鍛えています。現場までの道が狭く消防車両が入れずホースなどの重い資機材を自力で運ぶときは大変です。それでも救急患者の女性から『女性隊員がいてくれて安心した』と声をかけられたときは、嬉しくてやりがいを感じた瞬間です。

仕事を始めて家族からどんな反応がありますか

家族は消防士という危険をともなう職業に対して、心配はあるようですが応援もしてくれています。消防士になるきっかけである祖父は消防士に合格したことをとても喜んでくれました。

職場環境について

曾於消防署と志布志消防署には女性専用の仮眠室・風呂・トイレが整備されており、性別関係なく働きやすいです。また高校卒業後すぐに社会人となった自分のために上司・先輩が丁寧に仕事を教えてくれます。

現在、大隅曾於地区消防組合には2名の女性消防士がいます。ただ曾於消防署配属の女性消防士は自分1人なので同じ悩みを共有できる女性消防士が増えてほしいです。今でも消防学校時代の同期女性消防士と連絡を取り合い交流しています。



今後の目標は

救急救命士の資格取得を目指しており、解剖生理（人体の構造や機能）や病気について勉強しています。

救急現場では傷病者のバイタルを見て迅速な対応をしたいです。火災現場ではどこから放水すればいち早く消火できるか日頃の訓練を頑張ります。



性別関係なく自分の憧れの職業に就かれた徳田さんの実行力はすごいですね。総重量約10kgの防火衣・ヘルメット・ボンベを装着し写真撮影に快く応じてくれました。

今回取材した

県男女共同参画地域推進員

- 末永順子
- 牧之瀬千保子
- 瀬戸口恵理